

西鶴賀町

まちのすがた座談会

明治時代に「遊郭客の飲み食い処」「生活を支える職人街」

として形成され、時代とともに「官庁街」「飲み屋街」と

まちの姿を変えてきた長野市西鶴賀町。

かつての面影が残るまちなみはいつからか「昭和レトロ」

「ノスタルジック」と表現されるようになり、近年は

長野市中心市街地遊休不動産活用事業の一環として

「西鶴賀エリアリノベーション」も展開されています。

明治から大正、昭和、平成、そして令和。

今、「これからの町のすがた」をみんなで話しませんか。

3月30日(日) 13時30分〜16時30分

勤労者女性会館しなのき (視聴覚室)

入場無料／定員35名 ※要予約

